参　加　人　数　表

区　　分		男　子	女　子	計
選　　手		（５０校） ６９２人	（４３校） ３８３人	（９３校） １０７５人
役員	一　般	５３人	１０人	６３人
	高　校	１０５人	２０人	１２５人
補　助　員		１０３人	５３人	１５６人

関東大会期日：6 月 12 日（金）～15 日（月）

同　　会場：茨城県　水戸信用金庫スタジアム（笠松運動公園陸上競技場）

同　　参加校：本大会６位（男女走高跳・男子棒高跳は６名）ただし、男女競歩５位、男女混成・女子棒高跳・女子三段跳・女子ハンマー投は４位（女子棒高跳は４名）

競　技　注　意　事　項

1　本大会は、2026 年度(公財)日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項によって行う。

2　招集について、ﾄﾗｯｸ競技は各競技開始時刻の 15 分前、ﾌｨｰﾙﾄﾞ競技は 30～50 分前に完了し、同時にｱｽﾘｰﾄﾋﾞﾌﾞｽの確認を行う（棒高跳は現地で行う）。また、招集時刻が他の競技時刻と重なっている場合は同時出場届を、棄権する場合は、欠場届（用紙は招集所に準備）を招集開始時刻までに競技者係に提出する。リレー種目は各ﾗｳﾝﾄﾞ第１組目の招集完了時刻 60 分前までにｵｰﾀﾞｰ用紙を招集所に提出する（ｵｰﾀﾞｰ用紙は招集所に準備）。招集時刻に遅れた者は、当該種目を棄権したものとして処理する。

3　ｱｽﾘｰﾄﾋﾞﾌﾞｽは、胸、背部に確実につけること。ただし、跳躍種目については片方だけでもよい。ﾄﾗｯｸ競技は本部で用意した腰ﾅﾝﾊﾞｰ標識を指定された位置につけること。腰ﾅﾝﾊﾞｰ標識は競技開始直前に付け、終了直後に必ず返却する。

4　着順または時間を元に次のﾗｳﾝﾄﾞ進出のための最後の１枠を決定するにあたり同成績者がいる場合、全員を有資格者とすべきであるが不可能であれば抽選によって決める。また、準決勝・決勝の走路順は本部で抽選によって決める。

5　高さの競技において、６人（女子棒高跳４人）以上同順位の者が出た場合は、関東大会出場獲得のためにｼﾞｬﾝﾌﾟｵﾌを実施する。

6　競技用具は、会場備え付けの物を使用する。ただし、棒高跳のポールについては各自のものを使用してもよい。その他の物は、検定を行う場合があるが、許可なく競技場内に持ち込んではならない。

7　投てき練習は危険防止のため競技開始前、審判の指示によって行う。なお、練習会場（補助競技場等）での投てき練習は禁止する。ﾒﾃﾞｨｼﾝﾎﾞｰﾙについては指定された区域で使用すること。

8　以下のﾌｨｰﾙﾄﾞ種目においては、計測基準記録を設ける。

○　走高跳の最初の高さは、原則として男子１ｍ７０、女子１ｍ４０とする。バーの上げ方は５ｃｍずつとし、男子は１ｍ９５より、女子は１ｍ５５より３ｃｍずつとする。

○　棒高跳の最初の高さは、男子３ｍ５０とする。バーの上げ方は２０ｃｍずつとし、３ｍ９０より１０ｃｍずつとする。女子２ｍ３０とする。バーの上げ方は２０ｃｍずつとし、２ｍ９０より１０ｃｍずつとする。

○　混成競技における走高跳の最初の高さは、審判員と総務で協議の上、決定する。バーの上げ方は、５ｃｍずつとし、男子は１ｍ７０より、女子は１ｍ４５より３ｃｍずつとする。

○　三段跳の踏み切り板の位置は、原則として男子１２ｍ、女子９ｍとする。

○　投てき種目は当日、審判員と総務で協議の上、計測基準記録を設けることがある。

9　競歩において、周回を残し、男子３０分、女子３２分を超えた者については、競技を打ち切るものとする。

10　混成競技において、棄権者が出た場合、組数を変更することがある。

11　入賞者（１位～６位）には賞状を授与する。

12　応援する際は、ﾒｲﾝｽﾀﾝﾄﾞでの集団応援は禁止する。なおﾊﾞｯｸ･ｻｲﾄﾞｽﾀﾝﾄﾞでも競技に支障がないように配慮すること。横断幕や幟の設置は本部の指示に従って設置すること。

13　助力について、競技規則 TR６.に従う。なお、ｽﾀﾝﾄﾞから映像を見せる事は認めるが、映像機器等をｽﾀﾝﾄﾞから吊り降ろしたり、競技者に手渡したりしての映像確認は認めない。TR６.４.５はｻｲﾄﾞｽﾀﾝﾄﾞのみ適用する。

14　環境美化について、各大会で清掃分担が割り当てられているが、ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ・ｽﾀﾝﾄﾞ・選手控え所・ﾄｲﾚ・更衣室など、使用した周囲も含めて美化に努めること。ゴミは各自持ち帰りをすること。